

東京都 公立高校の入試制度

【2020年度版】

入試概要

東京都の公立高校入試には、主に**推薦入試**、**第1次募集**、**第2次募集**があります。
1次と2次で定員を分けて募集する場合は、**分割前期募集**、**分割後期募集**と呼びます。

通学区はなく都内のどの高校でも受検することが可能で、全日制は**推薦と第1次（分割前期）の2回の受検機会**があります。 ※島しょを除く

	出願期間	検査日	合格発表
推薦募集	1/22	1/26・27	1/31
第1次・分割前期	2/5・6 取下12・再提出13	2/21	3/2
分割後期・第2次	3/5 取下6・再提出9	3/10	3/16

出願は基本的に1校1学科（コース）のみですが、同一学科内に2科（2分野）以上ある場合は、**推薦は第2志望を、一般は志望順位を指定**することができます。
※芸術に関する学科は除く

調査書

各教科の評定と、**観点別学習状況の評価**を併記しているのが特徴です。
中3の12月末の成績が用いられます。

各教科の評定・・・必修9教科について5段階（5・4・3・2・1）

観点別学習状況の評価・・・各教科4～5項目の観点別に3段階（A・B・C）

●その他の記載事項

- **総合的な学習の時間の内容及び評価**
第3学年における総合的な学習の時間で設定した課題および内容と、学習状況・成果に対する評価を文章で記入する。
- **諸活動の記録**
道徳・特別活動・他の学校内外の活動から特筆すべき活動を取り上げ、その活動の事実や実績を所見を除いた客観的な記録として記入する。
- **出欠の記録**
第3学年の4月1日から12月末までの出欠状況を記入する。
欠席日数が多い場合は「自己申告書」を本人および保護者が記入し
高校へ提出することができる。

推薦募集

一般推薦と文化・スポーツ等特別推薦の2種類。いずれも校長推薦が必要。

推薦枠	普通科（単位制・併設型を含む）	20%以内
	普通科コース	30%以内
	その他の専門学科	30%以内

一般推薦

- ①集団討論(インカレッジスクール以外)、②個人面接、
- ③小論文または作文・実技・高校設定の検査からいずれか1つ以上

文化・スポーツ等特別推薦

- ①面接（個人または集団）②実技、③高校設定の検査（作文など）
- ①②は必須、③は必要に応じて実施することができる。

いずれも調査書点と①～③の得点の各得点を総合した成績で選考します。
調査書点は、各教科の評定と観点別学習状況の評価のいずれかを得点化します。

第1次・選抜前期募集

学力検査は国・数・英・理・社の5教科。体育科・芸術科は国数英の3教科と実技検査を実施。
一部の学校では、3教科（国数英）の問題を自校またはグループで作成し、共通問題の理・社と合わせて実施。

〔自校作成〕 日比谷・戸山・青山・西・八王子東・立川・国立・新宿・墨田川・国分寺
※国際高校は英語問題を自校作成

〔グループ作成〕 併設型中高一貫教育校・・・白鷗・両国・富士・大泉・武蔵
※一部、学校独自の問題と差し替えが可能

その他の検査 高校によって、面接・小論文または作文・実技検査を実施。

選抜方法

学力検査の結果と調査書の調査書点の合計を1000点満点とし、その他の検査があれば得点化して加点する。

- ① [体育科・芸術科]学力検査は国数英の3教科
- ② [その他の学科]学力検査は国数英理社の5教科

【調査書点】学力検査教科の評定の合計＋その他の教科の評定の合計×2倍

- ① 75点満点
- ② 65点満点

【学力検査】各教科100点（一部傾斜あり）

- ① 300点満点
- ② 500点満点

学力検査点：調査書点を、①6:4 ②7:3で1000点満点に換算。

エンカレッジスクール

全日制高校の中で、蒲田、足立東、東村山、秋留台、中野工業、練馬工業はエンカレッジスクールに指定。学力検査は行わず、調査書・面接・小論文・実技などにより選考される。

※この資料は簡略に表現していますので、詳細は教育委員会の資料でご確認ください。